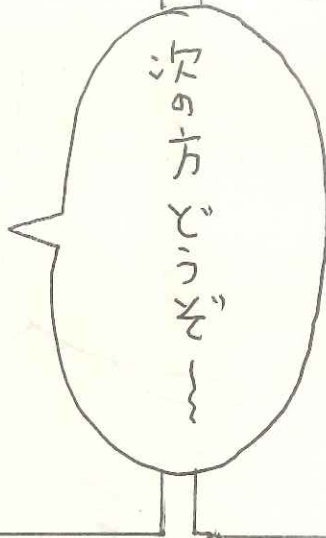
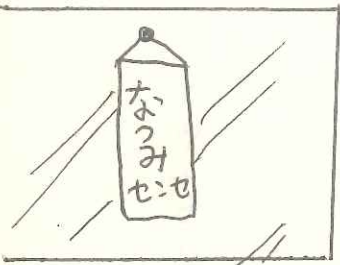


なつみ先生の診察室



受付

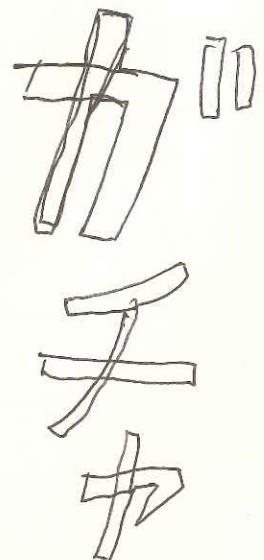




そり君だね、
はじめまして。
なつみです。
今日はどうしたの？



はーいこちへー



亦々なんです……



せんせい……

変なの？

どんな風に



ん……

空が青く
見えるんです。



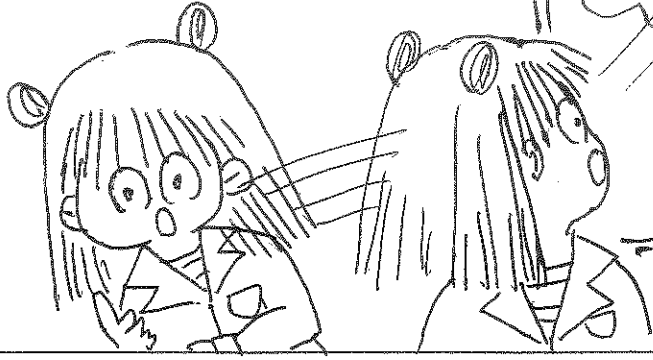
空が……

どねどね



空が青い…
なるほど…

もっとくわしく
教えてくれる？



友だちに聞くと、

空は青くないよ！

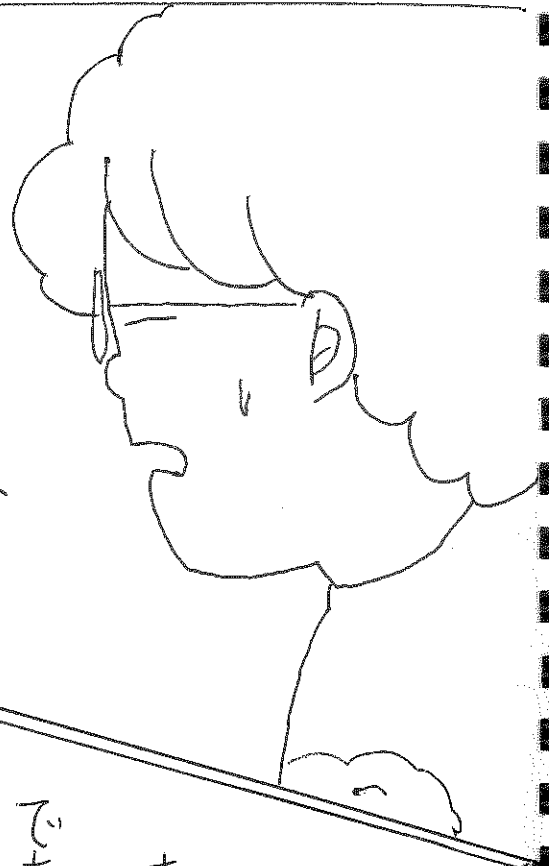
赤だよ！って

言うんです！

僕なにが正しいか

わからなくて…

青にしか見えななし。



ん〜、なるほどね、

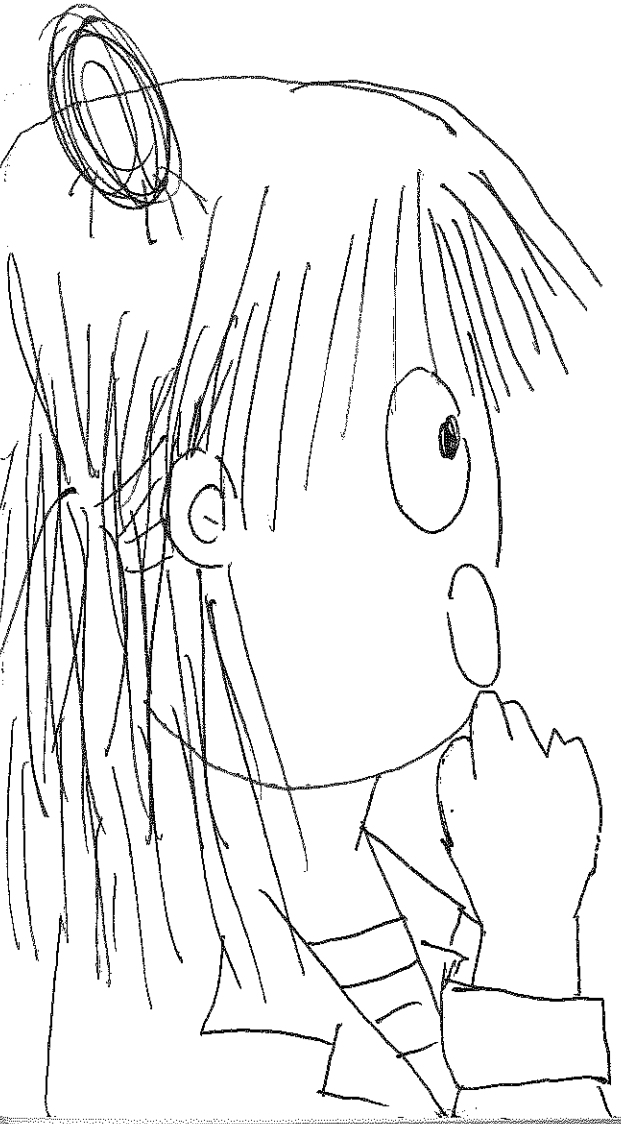
そうかあ、友だちの空は

赤い色をしているんだね？

でも、そう君には、青だとか

思えないんだね？

というか、青にしか見えなんだね？



そうなんです!!

しかも空にはたくさんの虫も

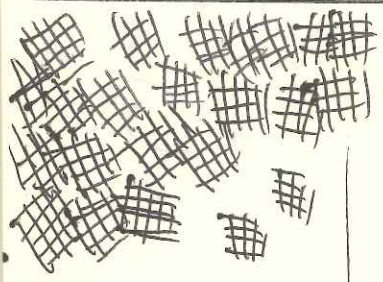
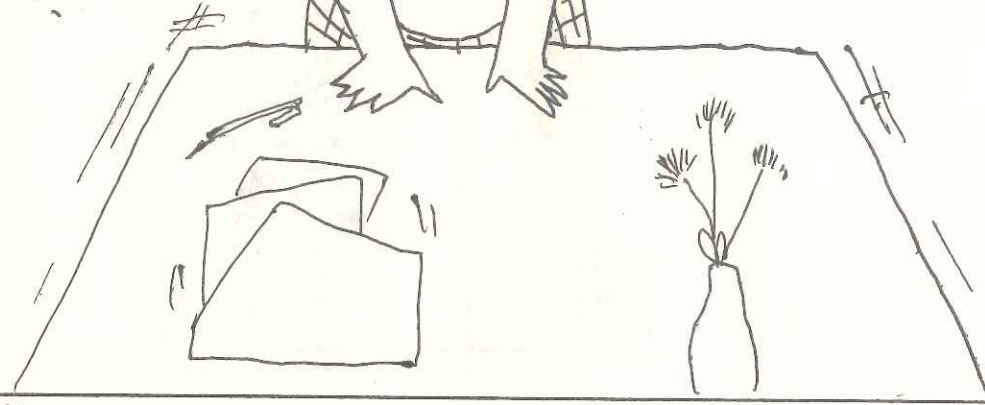


つじやうじゃいるって友達が

言うんですよ? でも、でも、

僕はなにも見えないんです...

虫なんかひとつも見えないんです!!



どうだねえ...
ホタというより...

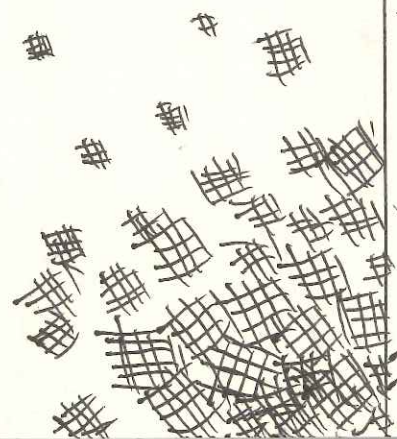
落ち着着いてそうろろ
深呼吸して...



うんうん...



そのことで少し
つかれているのかな?



ごっかおかし
ですよね!?!
ねえ!?!



せんせい!!
僕、ホタですよね!?!

僕……空は青いし、虫も見えないし、

友だちと話か

合おなくて……

なんだか……いっも

僕ひとり浮いてるんです、そんな気が

するんです……



僕、どういたりのいいですか？
せせ……空、青じゃありませんか？



そら君、聞いて。

わたしの内は

色々と亦あるけれど...

今、窓の外を見ると

此系ウ芭に見える。

うん、此系に見えるんだよね.....



.....
僕はやっぱり...

青色に見えます.....

はい.....

そら君...



そら君は「普通病^{ふつうびょう}」という
やつかもしれないね。

普通病...



...って、
何ですかそれ？



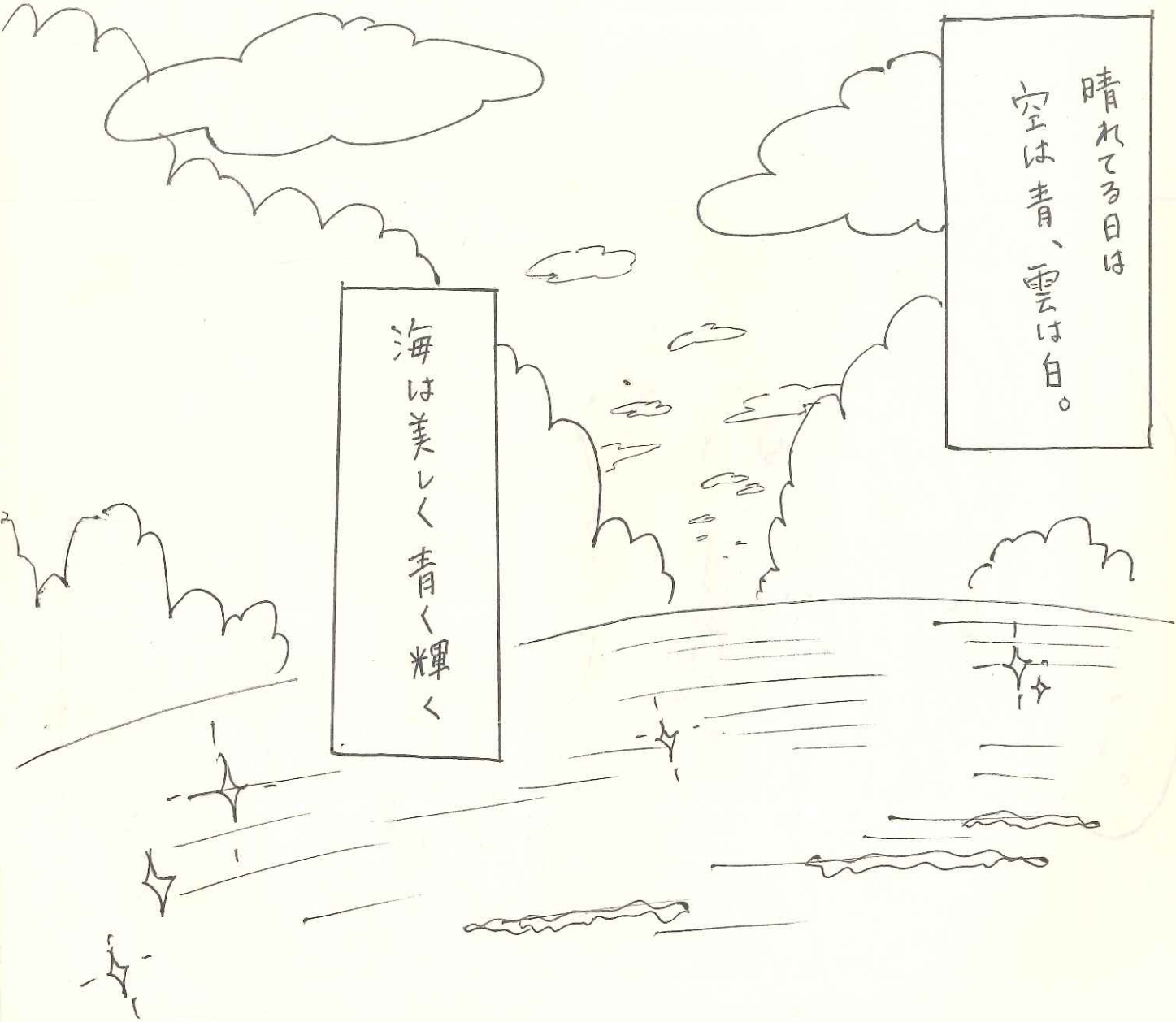
普通……って言われても



えっと:



いわゆる「普通」。



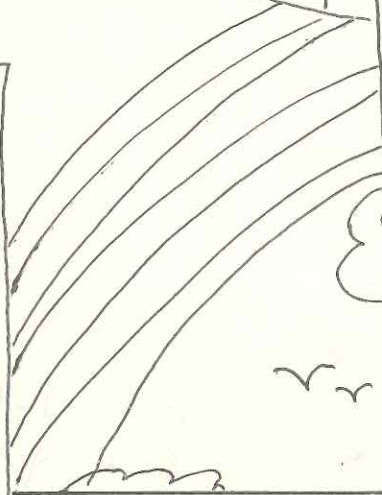
海は美しく青く輝く

晴れてる日は
空は青、雲は白。



昔はね、「普通」
 そう見えるもんだったんだよ。
 みんなそう見えてたんだよ。

世界は歪みなく
 美しく、虹は七つの色、



雨が降れば傘をさす。

ケがするとコケないから
 靴をはく

街中には、
 そういランがたくさんいたんだ。

でも今は違ってきたんだ。



街中には空は青、虹は七色、
そういう人達が減っているよ...

政府が認め発表したんだ
現在の世界のすべてを。

ザワ
ザワ

ザワ

ザワ

ザワ

ザワ

世界は一時期、
大混乱!!!



急に得体の知らない
声が聞こえたり、変なものか
見えたりする人もいたよ。

街は...普通じゃない人で
あふれ返ったんですか？



なみせんせい



ほ...僕は...そんな世界
信じられません。

だって僕、何も見えないし、
変な声だけで聞こえない
ですし.....



そっかあ...

.....



なつみせんせいは、

あー!!
見えますか?!!

んあ、



見えるよ、虫もだし、
幻覚・幻視と呼ばれるものが



わたしは……



しかも肌に突き刺さる
針のような雨。

お店の中に入れても雨が降ってきたよ。

そんなこと...



本当にあるんですか...?

あるんだよ。本当に。



信じてもらえないかも
しれないけどね。

昔はそら君のようないわゆる「普通の人」が
多かったんだよ。でも今は違う。

「普通」は少数派になった。

↓
少数

それら君の友だちのように
空が赤く見えたりする人

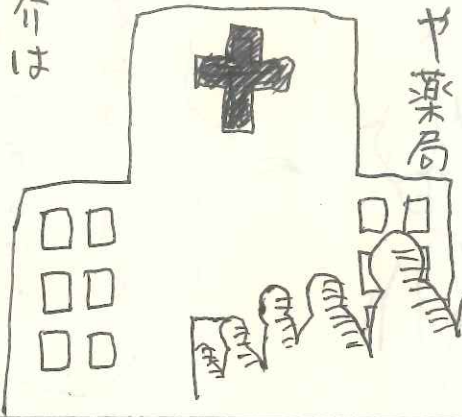
巨大な目に
監視されて怯える人

お風呂場で

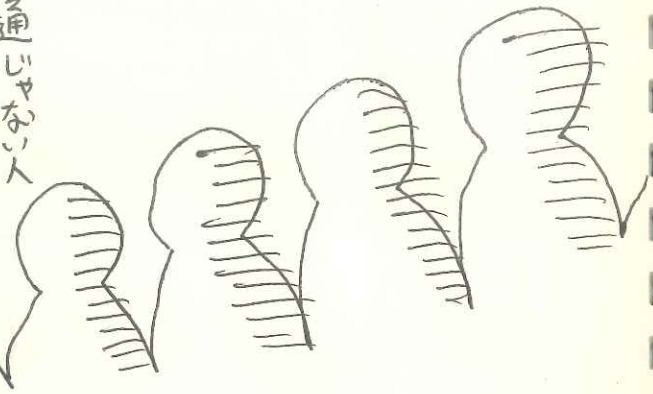
空に巨大な不気味な
虫が見える人



世界は
溢れかえった。



普通じゃない人
でたちまち
病院や薬局



そして、そう君も、
それに含まれる。

「普通」と言われていた人たちが
「普通病」と呼ばれるようになった。

そして政府が発表し、
世界は逆転した。



僕はどうしたら
いいですか？



ふら
ふら

せんせいー…
僕は…僕は…

僕は…昨日と話が合わない。
それが苦しくて…楽になりたい。
楽になりたいんです。



そら君は、
どうしたい？



泣かないで、そら君
楽になるには、
周りとは選いを比べないこと。
わたしはそう思うよ



空が赤くなきゃいけない
法律なんてない。



空が青くたって虫が見えなくなるとって
別にかまわないんだよ。

せんせいは泣くなと言っけど
僕は「普通病」って
病気なんですよね？



病気を受け入れる事か
大切かね。



受け入れる...事

ですか...



少し外を歩こう、そうら君。
そうら君が普通で困ってる事
それを教えてくれる？

読者がこの
背景をあまたって

知りませんよ
そんなこと

友だちとのコミュニケーションですー！
共有出来ないのが苦しいですー！



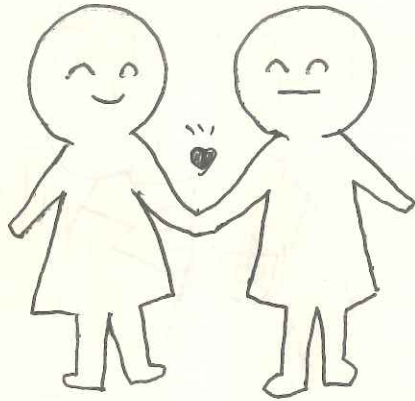
空が赤、得体の知れない声
共有出来ないだろうね。
普通病には無い。これが
この病気の症状だからね。

でもそうら君、考えてごらんマ。
普通病じゃない我々だってあるよね？
同じ人間だけど共有出来ない事は
あるよね、必ず。そう思ったら
皆、同じじゃないかな？



どんなに仲良しでも他人

はい、どんなに仲良し人でも
いち個人で他人ですもんね



そら！
そらなんだよそら君。

家族でもいち個人で他人

「普通痛」を受け入れろ。とは
言わないよ。いかなそら君？

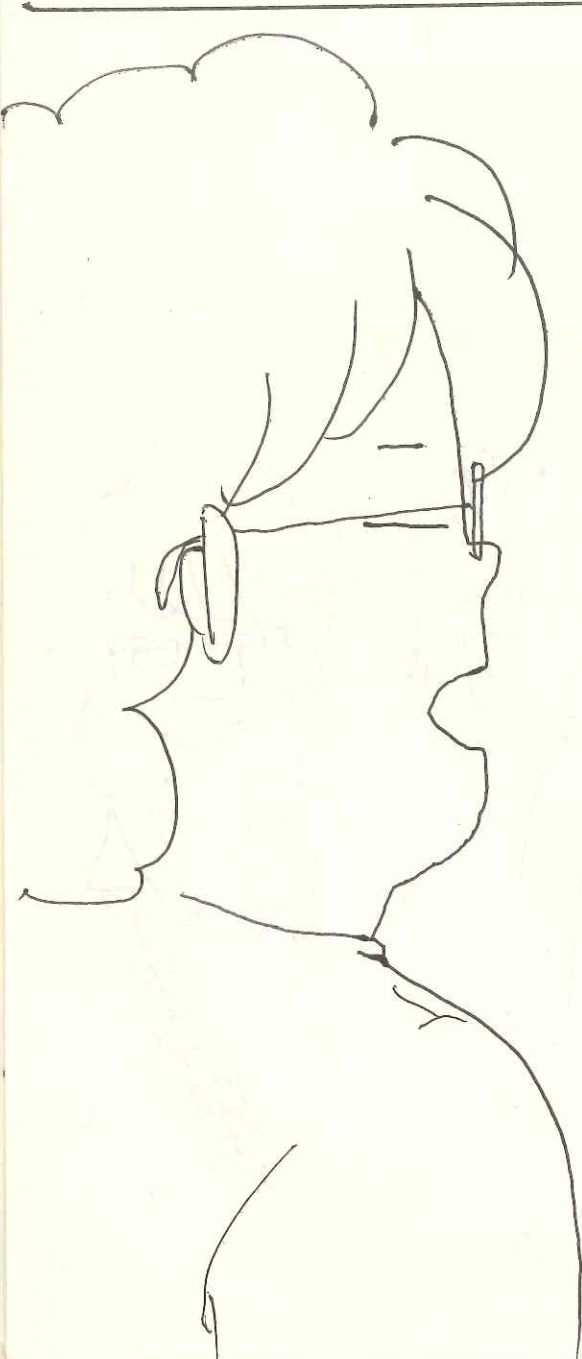
今の世界は、皆、なにかしら、
「病気」なんだ。
社会全体が「病気」なんだ。



そもそも皆、違う、
逆に皆、同じ。わかるかな？



何が正しくて何が間違ってる、
なんて、あってないようなもの。



普通病は僕だけじゃないんですよね？



もちろん!! そう君だけじゃないよ!! 今も昔も、

少数派は少数をただであって、いない訳じゃない。

少数派は世界から排除されやすいけど、

多数派が少数派の症状や状態を

理解しようとするのは、

こんな優しい世界、他にはないよ。

世界は優しくなれるんだよ。



理解がすすめば世界は優しい、
いやあ僕は……僕は……



僕も病気、誰もが病気。
そもそも皆違う、でもそこが同じ。
皆違うから比べられない、



月空を見て、
素直に 美しいと
思っても 良いんですか……



おこらぬ。

…かもしれないね。

本人に聞いてみたらいいよ。

良い事も悪事も。

うん。

比べるんじゃないかと

“共有出来ない”を“共有”してごらん。

本当に大切なのは、理解しようとし続ける事。

わたしはそう思うよ。



そら君、お大事に。

またいつでもおいで。